

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGsの達成を目指し、Mastery for Serviceを体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会で用いられているAI等のテクノロジーが持つ機能や役割、実例などの基礎的な情報を自分の言葉で説明することができる ・簡単なプログラムを使って実際にAIを動かすことができる <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的課題について調べ、AI等のテクノロジー活用した解決方法を提案することができる ・AIが人々、社会にとって正しく活用されるための倫理的判断をすることができる ・テクノロジーが人間個人、社会に与える影響を考察することが出来る ・上記事項について、他者に適切に提示/説明することができる <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIや新たな技術開発、イノベーションについてより深く知ろうとし、それを用いて解決しようとする姿勢を持つことが出来る ・社会的課題に向き合う中で、AIなどに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、人間の本来の生き方について追求することができる 	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 実際に社会でAIを活用する人を通じて、実践的なAIやテクノロジーの活用に関わる知識を獲得できる ② 社会課題解決のため、生徒自身が自分事として課題をとらえ、その課題の原因、課題や対策等の状況を正確に把握することが出来る ③ 社会課題解決のため、2年で学んだ知識を基にAIやテクノロジーを活用した具体的な提案をすることが出来る <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① AIを活用した社会課題の解決案について、議論などを通じて他者と協働して創造することができる ② AIを活用した社会課題の解決案について、倫理的な判断を加味することができる ③ AIを活用した社会課題の解決案について、他者に分かりやすく提示し、他者の考え方や生き方に影響を与えることができる <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 常に新しいAIや新たな技術開発、イノベーションについて、自発的に調べ知識を追い求めることができる ② 社会課題に向き合う中で、AIなどに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、自分の生き方について追求することができる ③ 社会課題に向き合うなかで、AIをはじめとするテクノロジーを活用しながら、課題の改善・解決に向けた実践を企画、実行できる 	

授業日	4/16(火)	1 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】② 【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 ・身近な社会問題の改善に取り組むにあたり、日本社会の現在を、政治・経済・テクノロジーの面から理解する ・日本社会の政治・経済・テクノロジーにおける変遷を知り、これまでの学びで得た知識や経験などを身近な問題として再認識する。		
時間 授業内容	5 分 85 分	年間の授業方針、1 学期の授業予定について 講義:現代日本とテクノロジー 概論	
評価方法			
宿題指示	振り返りレポート 授業内で扱ったテーマから、関心のあることについてリサーチをし、そこから考察を加える		

授業日	4/23(火)	1 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】①②③ 【学びに向かう力・人間性】② ----- 本時の具体的な目標 ・これから社会課題の解決に取り組むに際し、根源的な目標としての「平和」について授業内での共通理解を得る ・生徒個人が「平和」の定義について考え、そこからグループ内での共有、全グループでの共有を通じて、多様な価値観を踏まえて議論し、新たな合意を形成することができる		
時間 授業内容	5 分 15 分 25 分 45 分	本時の説明 個人で「平和」の定義について考える グループで「平和」の定義を共有し、グループとしての定義をまとめる 生徒主導で、各グループの定義を共有し、授業としての平和の定義をまとめる	
評価方法	平和の定義と個人の関心に関するワークシート		
宿題指示	平和の定義と個人の関心に関するワークシート提出、授業内ワークショップに向けた個人の関心分野の表明		

授業日	5/7(火)	1 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③ 【学びに向かう力・人間性】①②③ ----- 本時の具体的な目標 ・最終的な実践に向け、まず各自の関心のある問題について、課題を明確にし、原因を探るなどの分析ができる ・同じような問題意識を持つグループで、個人の問題意識を共有し、多様な視点から課題の理解を深められる ・グループでの授業内ワークショップ企画を通じて、問題を明確にし、自分たちの主張や仮説を立てられる ・問題に対する理解をより深めるため、他の生徒に自分たちの主張を伝え、多くの意見を集める準備ができる		
時間 授業内容	15 分 5 分 70 分	死者の記録を学習させたAIの実用化に関するニュースを題材に、AIに関する話題が倫理面での賛否など多岐にわたることを学ぶ 授業内ワークショップの説明、本時の説明 各自の問題意識から授業内ワークショップのグループを編成し、企画を準備する	
評価方法	準備期間を対象とした学びの記録		
宿題指示	準備期間を対象とした学びの記録		

授業日	5/14(火)	1 学期授業回数	4 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③ 【学びに向かう力・人間性】①②③ 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> ・最終的な実践に向け、まず各自の関心のある問題について、課題を明確にし、原因を探るなどの分析ができる ・同じような問題意識を持つグループで、個人の問題意識を共有し、多様な視点から課題の理解を深められる ・問題の分析を経て、各自の問題意識を自分ごとのレベルに落とし込み、明確なリサーチクエストや仮説を立てることができる ・ワークショップ企画を通じて、問題意識を明確にして他者に効果的に伝える方法を考えることができる ・問題に対する理解をより深めるため、他の生徒に自分たちの主張を伝え、多くの意見を集める準備ができる 		
時間 授業内容	10 分	授業内ワークショップ、リサーチクエストについての説明	
	35 分	グループでの準備	
	5 分	授業内ワークショップの組み方についての説明	
	25 分	グループでの準備	
	15 分	各グループの経過報告	
評価方法	授業内ワークショップ準備に関する学びの記録		
宿題指示	授業内ワークショップ準備に関する学びの記録、授業内ワークショップの準備		

授業日	5/28(火)	1 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回	休校
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標			
時間 授業内容				
評価方法				
宿題指示				

授業日	6/4(火)	1 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③ 【学びに向かう力・人間性】①②③ 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> ・最終的な実践に向け、まず各自の関心のある問題について、課題を明確にし、原因を探るなどの分析ができる ・同じような問題意識を持つグループで、個人の問題意識を共有し、多様な視点から課題の理解を深められる ・問題の分析を経て、各自の問題意識を自分ごとのレベルに落とし込み、明確なリサーチクエストや仮説を立てることができる ・ワークショップ企画を通じて、問題意識を明確にして他者に効果的に伝える方法を考えることができる ・問題に対する理解をより深めるため、他の生徒に自分たちの主張を伝え、多くの意見を集める準備ができる 		
時間 授業内容	10 分	各グループの問題分析とリサーチクエスト、意見を集めたいポイントをまとめる動画作成についての説明(先週が臨時休校になったため、相互ワークショップから予定を変更)	
	80 分	各グループでの動画作成	
評価方法	動画で提示される問題の分析、リサーチクエスト 他のグループに対するコメントシート		
宿題指示	動画の提出ならびに他のグループに対するコメントシート作成		

授業日	6/11(火)	1 学期授業回数	7 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】		
	本時の具体的な目標 ・ 論理的な文章作成力を身に付け、今後の発表や対外的な活動の際に的確に主張を伝えられるようにする。		
時間 授業内容	10 分	今後についての諸連絡、本時の目的の説明	
	80 分	関西学院大学ライティングセンターの講師による論理的な文章の書き方についてのレクチャー・ワーク	
評価方法	-		
宿題指示	授業ワークシート、ふりかえりワークシート、感想の提出		

授業日	6/18(火)	1 学期授業回数	8 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】		
	本時の具体的な目標 ・ ワークショップを通して、①専門的な知識・スキルと②問題解決能力やコミュニケーション能力を養う ・ AI とデータサイエンスの関係を理解する		
時間 授業内容	10 分	アクセンチュアによる「データサイエンスでビジネスを変革！」するためのワークショップの導入説明	
	80 分	ワークショップ	
評価方法	学びの記録		
宿題指示			

授業日	6/25(火)	1 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】		
	本時の具体的な目標 ・ ワークショップを通して、①専門的な知識・スキルと②問題解決能力やコミュニケーション能力を養う ・ データの読み取りができるようになる。・ 施策選択し、最終発表を行う		
時間 授業内容	90 分	アクセンチュアによるワークショップ続き	
評価方法	学びの記録		
宿題指示			

授業日	9/10(火)	2 学期授業回数	1 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・ 授業内での発表で終わるのではなく、何らかの実践に取り組む=社会に働きかけることを改めて確認 ・ 1 学期の内容原因分析と夏休み課題を踏まえて、チームの再編をはかる		
時間 授業内容	10 分 70 分 (休憩 10 分)	<課題解決に向けた実践チームを再編する> ・ 新たなチームで企画と立案をする 一学期は社会問題への関心・自分なりの課題を持ち、原因を探り、対策を考える段階としていたものを、二学期では授業内だけでの発表に終わることなく、自分達の課題解決と対策案が、実社会において本当に実践していけるのか考え、検証していく。	
評価方法	学びの記録		
宿題指示			

授業日	9/17(火)	2 学期授業回数	2 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・ 株式会社 OSINTech 小田氏の講演を通して、AI との共生を考える ワークショップを通じて、問題意識を明確にして他者に効果的に伝える方法を考えることができる ・ ペアワーク・グループワークを通して、他の生徒に自分たちの主張を伝え、また他者の主張を受け入れる姿勢を身に着ける		
時間 授業内容	5 分 40 分 10 分 45 分	株式会社 OSINTech 講師 小田氏をお招きして、講師自己紹介 OSINT(Open Source Intelligence)に、もっとテクノロジーの活用していくことを目標に活動されている。環境や人権に関する、各国政府・国連関係機関・NGO 等の発信情報を、言語統一し、一元的に閲覧できるようにし、世界中の公開情報をスピーディーに入手することができるその技術を紹介。 休憩 グループワーク（自分の Love・自分の Hate を考える）意見を共有	
評価方法	学びの記録		
宿題指示	次週からの AI・テクノロジー関係のニュース&考察発表(1 人 3 分)の準備 前回授業を対象とした学びの記録も提出してください。		

授業日	9/24(火)	2 学期授業回数	3 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・ 身近な AI・テクノロジー関係のニュースに関心を持ち、自分なりに情報をまとめて発信する ・ “テクノロジーは人間・社会をどう変えるのか”というテーマのもと、AI を用いての解決策を考え、それを実践に移していく準備をする		
時間 授業内容	20 分 70 分	<AI・テクノロジー関係のニュース&考察発表> ・ AI オンデマンドバス ・脳波信号と AI で絵を描く ・ APPLE INTELLIGENCE (2 人) <“テクノロジーは人間・社会をどう変えるのか”についての企画書の作成・提出>	

授業日	11/12(火)	2 学期授業回数	8 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 “テクノロジーは人間・社会をどう変えるのか”というテーマのもと、AI を用いての解決策を考え、それを実践に移していくことを考える。各班で考えた内容を中間経過発表することにより、教員や他の班からのフィードバックを受けて内容をさらに深めていく。		
時間 授業内容	20 分	<AI・テクノロジー関係のニュース&考察発表> ・ 祝ロイロノート 10 周年 ・ Open AI o1 ・ AI 防犯カメラを使って客引きを防ぐ - ・ 障害者を支える AI(歩行支援アプリ) ・ グーグル 原発から電力調達へ AI 活用で電力需要高まる	
	10 分	「AI を使って豊かな生活になるのか、何のためのテクノロジーなのかを考える」 11 月 26 日の最終報告会に向けて、改めてどのように仕上げていくかの説明—三木先生	
	50 分 (内休憩 10 分)	<個人レポートの提出に向けての準備> 3 年生で取り組んだ課題解決のための実践に関して、 ・ 課題意識…「テクノロジーと人間・社会」について何を課題と感じたのか、どこに問題を感じたのか ・ 原因と対策…その課題について学んだこと、また何が原因で、どうすれば改善できると考えたか ・ 実践の選択…その解決のために、なぜその手段を選択したのか ・ 実践を通して得たこと・成果 ・ 実践を通しての反省・課題 について考察する	
評価方法			
宿題指示	最終報告に向けて、アンケートデータの処理、インタビュー原稿をまとめるなど準備を進める		

授業日	11/19(火)	2 学期授業回数	9 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 “テクノロジーは人間・社会をどう変えるのか”というテーマのもと、AI を用いての解決策を考え、それを実践に移していくことを考える。来週の最終成果発表に向けて、教員や他の班からのフィードバックを受けながら、発表内容を完成させる。		
時間 授業内容	5 分	「エネルギー探究」のクラスからの Classi アンケートに回答する。	
	5 分	三木先生より次週の最終成果発表に向けて諸注意。	
	80 分 (内休憩 10 分)	各班で次週の最終成果発表に向けての準備を行う。	
評価方法			
宿題指示	3 年生で取り組んだ課題解決のための実践に関して自分なりに下記のことを考える。 課題意識：「テクノロジーと人間・社会」について何を課題とかんじたのか、どこに問題を感じたのか ① 原因と対策：その課題について学んだこと、また何が原因で、どうすれば改善できると考えたか ② 実践の選択：その解決のために、なぜその手段を選択したのか ③ 実践を通して得たこと成果 ④ 実践を通しての反省・課題 上記についてレポートを 11/29 までに Classi に提出		

授業日	11/26(火)	2 学期授業回数	10 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 “テクノロジーは人間・社会をどう変えるのか”というテーマのもと、AI を用いての解決策とその実践例を、最終成果発表で報告する		
時間 授業内容	13:15 開始		
	13:15～13:20	説明 講師紹介 住友商事 伊藤 友久氏	関西学院大学商学部 (株 Winttle) 長田 健吾さん
	13:21～13:28	発表①【スマホ依存症】	
	13:29～13:31	コメント 1	
	13:31～13:35	コメント 2	
	13:36～13:43	発表②【言語の情報格差】	
	13:44～13:46	コメント 1	
	13:46～13:50	コメント 2	
	13:51～13:58	発表③【アプリアイデアコンテスト】	
	13:59～14:01	コメント 1	
	14:01～14:05	コメント 2	
	14:06～14:13	発表④【年齢の情報格差】	
	14:14～14:16	コメント 1	
	14:16～14:20	コメント 2	
	14:21～14:28	発表⑤【教員への AI 活用】	
	14:29～14:31	コメント 1	
	14:31～14:35	コメント 2	
	14:36～14:43	発表⑥【KG ピッチコンテスト】	
	14:44～14:46	コメント 1	
	14:46～14:50	コメント 2	
		全体講評 住友商事 伊藤 友久氏、三木先生	
	14:50～15:00	講師の方々と交流会	
評価方法	ループリック		
宿題指示	3 年生で取り組んだ課題解決のための実践に関して自分なりに下記のことを考える。 課題意識：「テクノロジーと人間・社会」について何を課題とかんじたのか、どこに問題を感じたのか ① 原因と対策：その課題について学んだこと、また何が原因で、どうすれば改善できると考えたか ② 実践の選択：その解決のために、なぜその手段を選択したのか ③ 実践を通して得たこと成果 ④ 実践を通しての反省・課題 上記についてレポートを 11/29 までに Classi に提出		